



ラスター型人物文様タイル
(イラン、13世紀後半)
本館蔵



ラスター型幾何文様タイル
(イラン、13世紀)
本館蔵



多色花文様タイル
(イラン、17世紀)
京都市・世界のタイル博物館蔵

穴吹興産スペシャル

砂漠にもえたつ色彩 - 中近東5000年のタイル・デザイン

2001年(平成13年) 3月3日(土) ~ 5月6日(日)

毎週月曜休館(月曜が祝・休日のときはその翌日)

開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

会場 岡山市立オリエント美術館

主催 岡山市立オリエント美術館、OHK岡山放送

後援 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、
岡山オリエント協会、岡山市連合婦人会、山陽新聞社、
岡山日日新聞社、朝日新聞社岡山支局、毎日新聞社岡山支局、
読売新聞社岡山支局、産経新聞社岡山総局、日本経済新聞社岡山支局、
岡山リビング新聞社、岡山県建築士会

協力 財団法人島根県並河萬里写真財団

特別協賛  穴吹興産株式会社



岡山市立オリエント美術館

岡山市天神町9-31 電話 086-232-3636
<http://www.city.okayama.okayama.jp/kyouiku/orient/>

DESIGN : NISHIDA Koji <http://raku-gaki.com/>

砂漠にもえたつ色彩-中近東5000年のタイル・デザイン



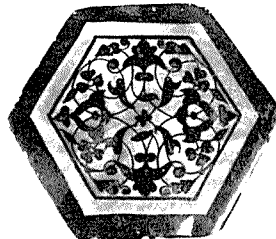
彩釉煉瓦
(イラン、クルディスタン出土、前8～前7世紀)
シルクロード研究所蔵



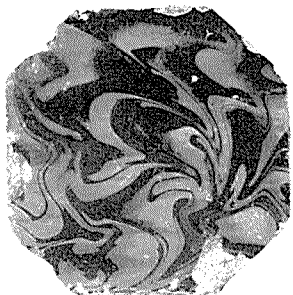
ラスター彩鳳凰文フリーズタイル
(イラン、タフテ・スライマーン出土、1270年代)
個人蔵



ラスター彩人物文六角星形タイル
(イラン、12世紀末～13世紀前半)
本館蔵



緑地釉下黒彩唐草文六角形タイル
(イラン、15世紀後半)
中近東文化センター蔵



墨流し文八角形タイル
(ダグスタン、15～18世紀)
個人蔵



多彩花文タイル
(トルコ、イズニク、16世紀後半)
中近東文化センター蔵

いまから5000年以上も前、メソポタミアの都市文明とともに、煉瓦を積んだ建物が壮大な神殿に発展し、これを美しく飾ることが始まりました。乾いた大地が広がる中近東では、まわりの風景の果てしなく広がる荒涼の中で、タイルの鮮烈な色彩に包まれた建築が、そこだけ人間存在の偉大を示しています。

建築は、自然環境と人間の文化の接点です。多量の資材はしばしばその土地からとられ、風土の過酷から人の暮らしを守るために、多くの知恵が集められました。そしてドームや塔が高くそびえる神殿、宮殿、礼拝堂の造形は、その時代の精神の高揚をいまに伝えていきます。

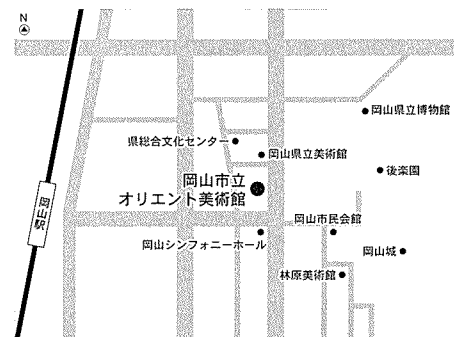
史上最初にガラス質の釉薬を開発し、建築の装飾材にタイルを使い始めた中近東では、長い歴史を重ね、試行を繰り返す中で、心に残る優れた建築を生み出してきました。サマルカンド、イスファハン、ダマスカス、イスタンブールなど、幾百年の年輪を経た世界の古都には、その光輝が現在も保たれています。

これと比べればタイルが移入されてまだ歴史が浅いわが国では、未知のことがいっぱいです。そこでこのたびは、国内にある中近東のタイルを集め、トルコやイランなどの建築写真を添えて、美しい文様や制作技術の展開を跡づけました。ひとつひとつ歴史をたどることで、この地に積み重なった歳月の重さをきっと実感できることと思います。

この機会に、中近東で花開いた5000年にわたる文明の輝きと、過去の時代の人々の創意と工夫の跡を振り返ってみるのもいかがでしょうか。

岡山市立オリエント美術館

岡山市天神町9-31 電話 086-232-3636



- JR岡山駅東口より徒歩15分
- 市内電車「東山」行きで5分、「城下」下車、左手すぐ。

入館料

一般：当日800円、前売600円
高・大生：当日600円
小・中生：当日300円

*20名以上の団体は当日料金から各100円引き

割引券

*この券で2名様まで割引になります。(おひとり100円引き)

● 一般800円を 700円 ● 高・大生600円を 500円 ● 小・中生300円を 200円